

目 次

序 章 著作権法の意義	1
第1節 はじめに	2
第2節 著作権法の基本的構造	12
第3節 今後の展望	23
第1章 著作物（著作権の客体）	31
第1節 総 説	32
第2節 著作物の定義	34
第3節 著作権の例示（著作物の種類）	69
第4節 編集著作物（12条）	107
第5節 データベース（2条1項10号の3, 12条の2）	119
第6節 二次的著作物	126
第7節 特殊な問題	138
第8節 権利の対象とならない著作物	158
第2章 著作権の主体	161
第1節 総 説	162
第2節 著作者＝創作者	163
第3節 著作権の共有	189
第4節 著作権者	196
第3章 著作権の内容	201
第1節 保護範囲の一般論	202
第2節 著作権と所有権	204
第3節 支分権	210
第4節 著作権の制限	241

第4章 取引の対象としての著作権	317
第1節 権利の移転 (61条)	318
第2節 担保権	325
第3節 信託	327
第4節 利用許諾	329
第5節 強制執行	340
第5章 著作権の発生・消滅と保護期間	341
第1節 保護期間の考え方	342
第2節 保護期間 (51条以下)	346
第6章 著作者人格権	359
第1節 著作者人格権総論	360
第2節 公表権 (18条)	375
第3節 氏名表示権 (19条)	379
第4節 同一性保持権 (20条)	384
第5節 その他の著作者人格権	407
第6節 共同著作の場合の著作者人格権 (64条, 117条)	411
第7節 著作者なき後の人格的利益の保護	414
第7章 著作隣接権	419
第1節 序説	420
第2節 実演家の権利 (91条以下)	426
第3節 レコード製作者の権利	445
第4節 放送事業者・有線放送事業者の権利	450
第5節 取引の対象としての著作隣接権	455
第8章 侵害と救済	457
第1節 侵害の要件	458
第2節 民事的救済	469
第3節 みなし侵害	506

第4節 刑事罰	518
---------	-----

判例索引 524

事項索引 536